

戦後 80 年 記念シンポジウム

「記憶」を伝えるということ

～戦争体験者がいない未来の戦没者関連事業・伝承・メディア～

戦後 80 年という節目の年を迎え、戦争体験者による生の声を直接聞くことが極めて困難な時代に直面します。本シンポジウムでは、戦争体験者と直に接し、取材した経験を持つ有識者をパネリストとしてお招きし、さきの大戦の経験と戦争の「記憶」を後世に伝える手段と課題と、そして未来の展望について考えます。

令和 7 年 8 月 3 日 (日)

13:00～16:00 参加無料

どなたでもご参加いただけます

定員
160 名

要事前申込



申込フォーム

申込方法 フォームに必要事項を入力し、送信してください。※応募多数の場合は抽選を行います
<https://senngo80nenn.hp.peraichi.com/senngo80nenn> 参加申込締切 7 月 14 日 (月)

プログラム

13:00～13:10 挨拶・趣旨説明

13:10～13:30

パネリスト講演①

保阪 正康 (作家)

「記憶を父に、記録を母に、教訓という子を産み、育てる」



13:30～13:50

パネリスト講演②

戸高 一成 (呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム) 館長)

「戦後 80 年を経た今、戦没者遺骨収集を考える」



13:50～14:10

パネリスト講演③

右田 千代 (NHK エグゼクティブ・ディレクター)

「戦争体験者の記憶」の重さ ～ 30 年余の取材体験から～



14:10～14:30 休憩

14:30～16:00

パネルディスカッション (自由討論)

【モデレーター】池上 彰

【パネリスト】保阪 正康、戸高 一成、右田 千代



会場 九段会館テラス 2 階 鳳凰の間

東京都千代田区九段南 1 丁目 6-5

東京メトロ 九段下駅 (半蔵門線・東西線 4 番出口) 徒歩 1 分

都営地下鉄 九段下駅 (新宿線 4 番出口) 徒歩 1 分

主催 昭和館  昭和館

お問い合わせ

TEL:03-3222-2577

メール: gakugei@showakan.go.jp